

ふくい市民活動基金

ふくい市民活動基金とは、事業者や市民の皆様からいただいた寄附をもとに、市民活動団体が行う公益的な活動や小中学生が行うボランティア活動を支援するものです。

寄附で市民活動を
応援しませんか？

オリジナルマスクを作って
感染予防しよう！
(特非) 福井女性フォーラム



自分だけのオリジナルマスクを作ることで、マスクに愛着を持ってもらうために、市内15の幼稚園に計1,836枚の無地の白マスクと手作りの消しゴムハンコセットを寄付しました。マスクに慣れておらず、マスクを外しがちな子どもたちに積極的にマスクを着用してもらうのがねらい。寄付後、6つの幼稚園では女性フォーラムの利用者が子どもたちのマスク作りを手伝い、交流を深めました。

幼稚園へのアンケートの結果、90%の幼稚園から「マスクに愛着を持つようになった」という回答がありました。

家族や友達とリフレッシュ！
夏のちょっと
チャレンジプログラム
(特非) 自然体験共学センター



コロナ禍での外出の自粛等に伴い、心身のリフレッシュができる場を提供するため、家族を対象に川遊びやキャンプなど自然を楽しむプログラムを実施しました。約1か月の開催期間の中で、延べ約100人がプログラムに参加。参加者は上見でのゆったりとした時間を過ごすことができ、親子間の親睦を深めながら、自然の中で心身共にリフレッシュすることができました。

今後も、親子で一緒にできる自然体験活動を企画し、学びや家族の思い出につながるプログラムを実施していきます。

令和2年度は
新型コロナウイルス感染症
対策事業にも助成しました！

ハナレタアート
(特非) 福井芸術・文化フォーラム



コロナ禍でイベントは軒並み中止になり、人と人とのつながる機会が減少しました。そんな中、コロナ禍でも開催できる新たなイベントの形を提案し、街や人々の活気を取り戻すことを目的に、「ソーシャルディスタンスを取り入れた体感するアートイベント」を開催。離れているからこそ成立する「糸電話」や「手紙」、「視力検査ゲーム」などを、多くの親子が体感し、楽しみました。

今後も、アートを通じて人と人がコミュニケーションできる機会を模索していきます。

福井市



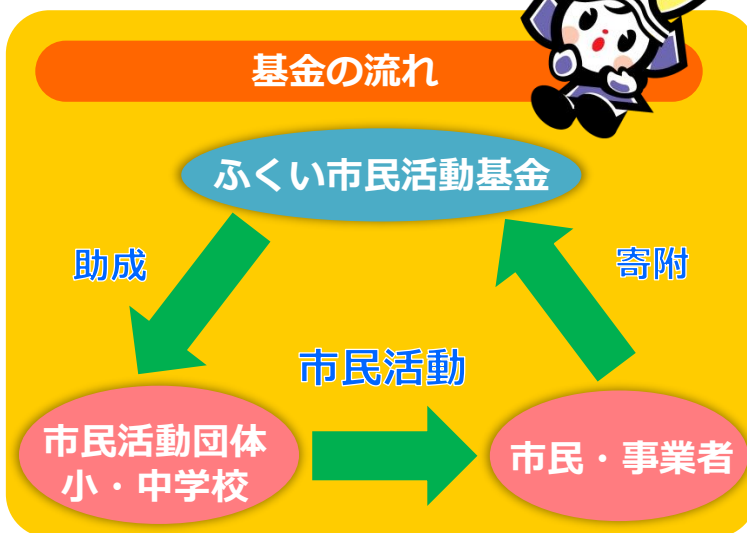
令和3年度版

ふくい市民活動基金とは



「ふくい市民活動基金」は、地域社会全体でまちづくりを進めていくことを目的に、市民や事業者の皆様からの寄附金を積立てているものです。この基金を財源として、市民活動団体が行う公益的な事業や、小中学生が行うボランティア活動に対して助成を行います。

市民活動を社会全体で支えるため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



寄附のお手続きについて

寄附の申込み

「寄附金申出書」に必要事項をご記入の上、市民協働・ボランティア推進課まで直接お持ちいただくか、郵送、ファックス又はEメールでお送りください。
「寄附金申出書」は、市のホームページからダウンロードできます。



寄附金の払込み

市民協働・ボランティア推進課から、手数料無料の納付書を送付いたします。
お近くの金融機関（ゆうちょ銀行を除く）でお振込ください。



寄附金受領証明書のお受取り

入金確認後、寄附金受領証明書を送付いたします。確定申告の際に必要となりますので、大切に保管ください。



寄附に関する3つのいいね！



寄附者様のお名前や社会貢献活動を機関紙やHP等で公表いたします！

事業者様の場合、CSR活動が社会的に認知され、イメージアップを図ることができます。
また、寄附者様が関わる社会貢献活動の様子を、年4回発行する当センターの機関紙や福井市ボランティアネットに掲載させていただきます。ぜひ事前に情報をお寄せください。



税制上の優遇措置が受けられる場合があります！

確定申告での所定のお手続きが必要になります。



10,000円以上のご寄附を頂いた場合には、「寄附特典」をお選びいただけます！

寄附金額に応じて、「寄附特典」をお選びいただけます。
※寄附特典の詳細については、右ページをご覧ください。

 グリーンリーフ 小（1万円以上）	 グリーンリーフ 小 + バナー広告（2万円以上）
 グリーンリーフ 大（3万円以上）	 グリーンリーフ 大 + バナー広告（4万円以上）
 ピンクリーフ 大（5万円以上）	 ピンクリーフ 大 + バナー広告（6万円以上）

令和2年度の助成事業を紹介します

令和2年度は2,098,620円をご寄附いただきました。基金は、13団体の公益活動に活用されました。

災害時に身近な 自然エネルギーで乗り切ろう ふくい市民共同発電所を作る会

災害時に身近にある自然エネルギーを使って対処できるよう、身の回りにあるものでエネルギーグッズを作る講座を5回開催しました。参加者は雨水や太陽熱、バイオマスが災害時に役立つ事例、身の回りのもので浄水器やソーラークーラー、ロケットストーブを作る方法など、災害時に役立つ様々なことを学びました。

災害が頻発する近年、災害時における自然エネルギー活用方法の普及に努めていきます。



要保護・要支援家庭の 親子支援事業 (特非) 親子関係支援センター やまりす

仕事や病気で子育てが大変な保護者を支援するとともに、子どもたちの居場所を作るため、「やまりすの家」を開設しました。やまりすの家では子どもたちが夕食を食べたり、宿題をしたり、くつろいだりできる場所を提供し、週末には保護者向けに子育ての悩み相談を行うなど、子どもと保護者の両方に対し支援を行っています。

立ち上げたばかりのため、改善を重ねながら、今後も親子に寄り添う支援を続けていきます。



CONNECTOR's HOUSE CONNECTOR's HOUSE

多様な価値観を持つ人たちが交流することにより、新しい発想やプロジェクトへのチャレンジが活発になるよう、交流や情報交換が積極的に行われるコミュニティを作る交流会を計画しました。

コロナ禍で交流会は開催することができませんでしたが、ボランティアを募り、DIYにて交流会の拠点整備を行いました。

今後は、感染状況を見つつ「人のつながりをつくる」ことを目的に、交流イベントの実施に努めていきます。



北陸初！サバイバルマスター 普及育成プログラム (特非) 自然体験共学センター

「一般財団法人72時間サバイバル教育協会」が提供している、サバイバルマスター養成プログラムを実施しました。このプログラムでは災害時に必要なスキルを「自分で考えながら」学ぶことができ、参加した子どもたちは防災についての知識からナイフの使い方、空き缶を使った非常食の作り方で、幅広く学ぶことができました。

今回は子ども向けの内容でしたが、親子のコミュニケーションツールとして防災・減災を活用できるような仕組みの構築も模索していきたいです。



焼畑でのそば作りを通して 地域文化伝承と地域活性化事業 焼畑でそば作り交流会

美山の伝統農法である斜面での焼畑そば。焼畑そばの魅力を確かめるため、焼畑そばと平地そばの2種類を収穫し、比較しました。比較方法は、越前そば道場で2種類のそばを配布し、参加者にアンケートに答えてもらう方法。結果は、焼畑そばの方がおいしいという意見の方が多くありました。そばの栽培や配布の際、上味見地域のひとと市街地のひととの交流もでき、伝統農法の普及にも繋がりました。

今後も焼畑そば作りを通して、地域文化の普及と地域の活性化に努めます。



オブジェクトパフォーマンス スクール

(特非) 福井芸術・文化フォーラム

モノや身体を使った舞台表現である「オブジェクトパフォーマンス」の普及を通じて地域文化活動の担い手を育成するため、全9回の講座を行いました。

講座後は、文化会館開館記念イベントにて成果を発表。ロープを生き物などに見立て、舞台を盛り上げました。

今後も、年齢や障がいの有無を超えて、誰もが参加できるノンバーバルな表現(身体表現)に特化したワークショップの開催に取り組みます。



大人も子どももプレーパーク祭り ～地域を巻き込む 子どもの遊び場支援事業～ Fukui Play Studio 遊房

子どもたちが外で遊ぶ機会が減少している現代、遊びを通じた子どもの豊かな育ちを支援し、子どもの育ちを中心とした地域コミュニティを作るため、プレーパークを使ったイベントを開催しました。子どもや保護者、地域住民など合計約70名が参加し、学生ボランティアのサポートのもと、建築遊びやごっこ遊び、ヤギとのふれあいなどを楽しみました。

コロナ禍で遊びの場が制限される中、今後も子どもたちの育ちを支援できるようなイベントを継続して行います。

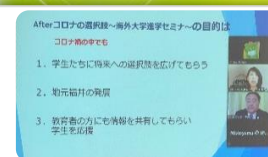


Afterコロナの海外大学進学 Zoomセミナー

(特非) 留学協会 福井支部

福井の教育関係者や学生、保護者を対象とし、海外大学への進学について情報を提供するセミナーをオンラインにて行いました。進学を考える学生に海外留学も含めた幅広い選択肢を提供し、留学での経験をゆくゆくは地元の発展につなげてもらうことを目的としたものです。

福井における海外大学進学についての情報量が少ない中、今後教育関係者・学生・保護者に対し、海外大学進学に関する情報を提供するとともに、個別面談なども実施していきます。



観光誘客に向けた 足羽山リゾート化

(一社) 足羽山こどもとあそびLab

北陸新幹線開業が迫る中、中心市街地である足羽山を魅力ある観光地にするため、観光客向けに3種類のリゾートモニターツアーを開催し、アンケート調査を実施しました。アンケートの回答には、足羽山で企画してほしいイベント、改善してほしい点などが書かれており、ツアー参加者の素直な意見を聞くことができました。

今後は、アンケート結果をもとにツアーを創造し、足羽山内及び周辺の施設とも協力しながら足羽山の魅力向上に努めていきます。



戦国越前若狭の魅力を考える シンポジウム 朝倉義景と明智光秀と織田信長 福井あすわ歴史道場

大河ドラマ「麒麟がくる」の「越前編」放送時期に合わせ、福井の歴史の魅力についてPRするシンポジウムを開催しました。シンポジウムの様子はケーブルテレビで放送され、多くの県民にPRすることができました。

また、京都の本能寺では歴史家明智恵三郎氏のトークショーや福井ゆかりの品の展示などを開催。京都新聞にも取り上げられ、福井の歴史の魅力を全国にPRすることができました。

今後も、北陸新幹線県内開業に向けて、福井の歴史の魅力を普及に努めます。



小中学生が行うボランティア活動も支援しています。

将来のボランティア活動の担い手づくりにつなげるため、地域や子どもの特性に応じたボランティア学習や体験活動に対し、助成を行っています。

令和2年度は、6校(酒生小・一乗小・上文殊小・六条小・文殊小・足羽第一中)の活動を支援しました。



▲車椅子体験
(文殊小学校)



▲メッセージ付きの花鉢を
公的施設に送付(一乗小学校)

福井市役所



市民生活部

市民協働・ボランティア推進課

(福井市総合ボランティアセンター)

〒910-0006

福井市中央1丁目2-1 ハピリン4階

TEL (0776) 20-5107

FAX (0776) 20-5168

E-Mail volunteer@city.fukui.lg.jp

基金HPはこちら

